ウズ・オウギ・マネキの系統推定

○谷川明男１・新海　明２（１東大・農・生物多様性，２日能研）

ウズグモ科のクモ類が張る網には，ウズグモ属の円網，オウギグモ属の三角網，マネキグモ属のすじ網などがある．これらの網型の進化については，円網から三角網，そしてすじ網へとだんだんと網が簡素化したのではないかという考え（細野 1947）や，その逆にだんだんと複雑化したのではないかという考え（吉倉 1987）があった．

演者らは，これらの網型間の系統関係を明らかにする目的で，3つの遺伝子（ミトコンドリアCOI，核18S-rRNAおよび28S-rRNA）の塩基配列情報を用いて系統推定をおこなった．その結果，得られた系統関係は従来の考えを支持するものではなく，三角網の出現とすじ網の出現とは独立に生じたことを表していた．